

方針	評価指標の項目	R2年度 (現状)	R5年度 (目標)
方針1 子どもたちの学びを を広げ、力を高める～ 情報活用能力の向上～	(1) 発達段階に応じた情報活用能力の育成		
	「とっとり学力・学習状況調査」において ・ 自ら課題を見出したり、課題に関係する情報を様々な方法で集めながら学習活動に取り組んだ児童生徒の割合	74.5%	100%
	・ 問題解決につなげるため、集めた情報を、必要に応じて比較したり、取捨選択したりしながら、根拠を見出す学習活動に取り組んだ児童生徒の割合	74.6%	100%
	・ 調べて考えたことを根拠にして、新聞やプレゼンなど様々な方法で、自分の考えをまとめ、工夫しながら伝える学習活動に取り組んだ児童生徒の割合	59.9%	100%
	・ 個人情報や他人の悪口を書き込まない、不適切なサイトにアクセスしないなどのルールを守っている児童生徒の割合	—	100%
	(2) 効果的なICT活用の推進		
	・ 児童生徒の授業におけるコンピュータなどのICT機器の使用頻度(週1回以上)	27.3%	100%
	・ スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、家で勉強のために活用した児童生徒の割合(30分以上)	—	50.0%
	・ 教員の教科別のICT活用の状況調査とその結果における各教科でのICT活用率(県立高校)	51.6%	100%
	・ ICTを活用した特色ある取組を行う学校数(県立学校)	5校(高校2、特支3)	全校
	(3) 新たな価値を生み出す創造力の育成		
	・ ICTを効果的に活用した探究学習や課題解決型学習等の実施校数(県立高校)	2校	全校
方針2 教員の指導力・活 用力の向上	(1) 教員研修の充実		
	・ ICT活用の校内研修または校外研修を受講した教員の割合	64.8%	90.0%
	・ 校内で複数の推進体制(校内での活用をリードできる教員が2名以上)を整備している学校の割合	67.0%	90.0%
	・ 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」における教員のICT活用指導力B(授業にICTを活用して指導する能力)の評価に1をつける教員の割合	2.8%	1.0%
	・ 同調査 C(児童生徒のICT活用を指導する能力)の評価に1をつける教員の割合	3.4%	
	(2) 指導・活用方法の共有化		
	・ 共通の学習用ツール(G Suite)の機能を使って授業を行った教員の割合	—	80.0%
	・ 学校教育支援サイトへの授業動画登録件数	16件	50件
方針3 教育の情報基盤 の構築	(1) ICT機器と通信環境の整備		
	・ 県立高校における授業を担当する指導者用端末の1人1台整備	20.2%	100%
	・ 県立高校における生徒1人1台端末の整備	2校	全校
	(2) デジタルコンテンツの充実やインターネットの活用		
	・ デジタル教材等の導入校数(県立学校)	30校(高22、特支8)	全校
	(3) 総合的な情報セキュリティ対策の実施		
	・ セキュリティポリシーを策定した市町村数	13市町(68.4%)	100%
	・ 1人1台端末に対応した校内運用ルール設定(県立学校)	4校(高1、特支3)	全校
	(4) 校務の情報化による教職員の働き方改革		
	・ 時間外業務が月45時間、年間360時間を超える長時間勤務者の割合	小:27.1%、中:35.3% 義:36.3%、高:5.0% 特:0.8%	0%
方針4 教育情報化に向 けた体制整備	(1) 組織的な教育情報化の推進		
	・ 学校教育情報化推進計画を策定している市町村数	—	100%
	・ 校内の情報化推進組織の設置(県立学校)	—	100%
	(2) ICT支援員等外部人材の活用		
	・ 図書館司書や外部人材を活用した研修を行う学校数(県立学校)	18校(高11、特支7)	全校
	・ 各校におけるICT支援員の設置率(県立学校)	高校:県1 特支:県1	4校に1人
	(3) 学校・家庭・地域による連携		
	・ インターネットの利用に関する調査における家庭でインターネット利用に係るルールを決めている児童生徒の割合	小6:83.2% 中2:70.9% 高2:36.2%	向上